

第5学年 国語科学習指導案

1組 計30人 (男子17人, 女子13人)

指導者 永田 洋一

1 単元 説明のしかたの工夫を見つけ、話し合おう
(教材「天気を予想する」光村5年)

2 単元の目標 説明の仕方に着目し、文章の内容を的確に押さえながら読み、筆者の意図や説明の仕方の工夫について発表し合い、考えを広げたり深めたりすることができる。

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	C 読む能力	言語についての知識・理解・技能
進んで図表やグラフの効果や文章構成などを捉え、文章の内容を読もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図表やグラフの効果、文章構成などを捉えながら文章の内容を的確に押さえながら読んでいる。 【(1)ウ】 ・ 筆者の考えや説明の仕方の工夫について考えたことを発表し合い、考えを広げたり深めたりしている。 【(1)オ】 	語と語の関係に気を付けることで、文の意味が捉えやすくなることに気付くことができる。 【(1)イ(オ)】

4 単元について

(1) 単元の位置とねらい

これまでに子供たちは、第5学年「生き物は円柱形」の学習において、文章の「初め」と「終わり」に筆者の考えが述べられていることや、文章構成による効果的な例示の在り方、繰り返し用いられている言葉に着目することによって要旨を捉えることを学んできた。さらに、筆者の主張や、考えの進め方に対する自分の考えを発表することで、考えを広げたり深めたりする学習に取り組んできた。

そこで、本単元においては、「C読むこと イ 自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用する言語活動」の『「天気を予想する」意見交流会』を位置付けることにする。筆者の考えや説明の仕方の工夫について考えたことを、互いに発表し合い、文章の内容を的確に押さえるとともに、図表やグラフなどの資料や文章構成の効果について考えを広げたり、深めたりすることができるようにする。

この学習は、自分の考えを理由や根拠を明確にしながら記述したり、グラフや表から読み取れる事柄を言葉で表現したりする教材『「グラフや表を用いて書こう」光村5年』の学習につながっていく。また、図表やグラフなどの資料や文章構成から書き手の意図や効果を捉える学習は、他教科・他領域の学習や、実生活の様々な場面において適用することができる。

(2) 教材について

教材「天気を予想する」は、天気予報を一つの有効な情報として活用しながら、天気のことわざにふれたり、自分自身で空を見たり、風を感じたりすることが大切であるという筆者の考えが効果的に述べられている説明的文章である。「天気を予想する」という日常生活と関わりの深い題材は、これまでの生活経験に基づいた自分なりの考えや思いをもたせやすい。また、各意味段落で三つの問いを繰り返している文章構成は、読み手の思考を段階的に深める効果があり、図表やグラフの活用は、事実と意見との関係を押さえやすくする効果がある。さらに、意見を交流することによって、文章の内容を的確に押さえ、図表やグラフなどの資料や文章構成の効果について考えを広げたり、深めたりすることができるようにするとともに、他の学習や実生活に適用したりしようとする意欲をもたせることができる。これらのことから本教材は、筆者の意図や説明の仕方の工夫について考えたことを発表し合い、互いの考えを広げたり深めたりすることや、自己の学びのよさについて自覚し、それを次の学びに生かすことに適した教材である。

(3) 子供の実態（調査日 平成28年9月1日 調査人数30人）

本単元の内容に関わる子供の実態については、以下のとおりである。（数字は人数）

<p>【調査 1】 説明的文章を読むための能力【目的に応じて文章の内容を的確に押さえて読むことができる】 目的に応じて文章の内容を的確に押さえて読むことができる。(18) 目的に応じて文章の内容を的確に押さえて読むことがもう少しである。(12)</p>
<p>【調査 2】 説明的文章を読むための能力【事実と感想、意見などとの関係を押さえて読むことができる】 事実と感想、意見などとの関係を押さえて読むことができる。(14) 事実と感想、意見などとの関係を押さえて読むことがもう少しである。(16)</p>
<p>【調査 3】 自分の考えの形成及び交流に関わる能力【筆者の考えや説明の仕方の工夫に対して意見をもつことができる】 筆者の考えや説明の仕方の工夫に対して自分の意見をもつことができる。(23) 筆者の考えや説明の仕方の工夫に対して自分の意見をもつことがもう少しである。(7)</p>
<p>【調査 4】 自分の考えの形成及び交流に関する能力【自他の考えを基に自分の意見をまとめることができる】 自他の考えを基に自分の意見をまとめることができる。(18) 自他の考えを基に自分の意見をまとめることがもう少しである。(12)</p>

5 指導に当たって

(1) 対話を重視した「学び合い」【研究内容 1】

以下の手立てを工夫することで、子供が主体的に課題解決へ向けて、対話を重視した「学び合い」に取り組むことができるようにする。

過程	手立て	対話を重視した「学び合い」の手立て
まとめる・広げる	思考の可視化	グループでの「学び合い」において、教材文中で使用されている資料を貼付した「発表ボード」を活用することで、子供が自分の考えを分かりやすく説明したり、相手の考えを理解したりすることができるようにする。
	思考を整理する板書	全体での「学び合い」においては、資料①、⑤、⑦を選んだグループと、資料②、⑥、⑦を選んだ考えの異なるグループを意図的に取り上げ、資料を貼付した「発表ボード」を板書上に提示することによって、筆者の考えを説明する上でどのような資料が効果的かという課題を焦点化し、吟味することができるようにする。
	思考を促す言葉掛け	全体での「学び合い」において以下の思考を促す言葉掛けを行うことで、考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ○ 理由付ける 「どうして資料①を選んだのですか。」という言葉掛けを行うことで、資料を選択した理由と根拠を話すことができるようにする。 ○ 比較する 『資料①と資料②』『資料⑤と資料⑥』のそれぞれどちらがより効果的なのでしょう。』という言葉掛けを行うことで、それぞれの資料の内容とよさを比較することができるようにする。 ○ 関係付ける 「資料②では科学技術の進歩が、的中率の向上につながっていることが分かりますが、『的中率が向上』したことを説明する点についてはどうですか。」という言葉掛けを行うことで、資料②が、補足的な資料であることに気付くことができるようにする。

(2) 自己の学びを自覚するための評価活動【研究内容 2】

以下のような手立てをとることで、子供が自己の学びのよさや課題を自覚することができるようにする。


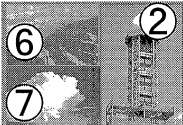
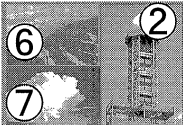
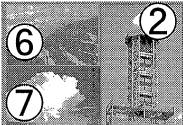

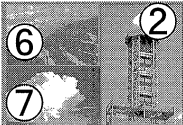

過程	手立て	自己の学びのよさや課題を自覚するための評価活動の工夫
高める・味わう	五観点での自己評価	○ 「分かったこと」、「できるようになったこと」、「『学び合い』を通して変わった考え」、「もっとがんばりたいこと」、「今後の学習や実生活に生かしていきたいこと」の五観点で自己評価に取り組むことで、自己の学びのよさや課題を自覚できるようにする。 ○ 五観点での自己評価を板書し、全体で共有することで、どのように考え、どのように吟味しながら課題を解決できたのかを振り返らせる。

7 本 時 (5 / 7)

(1) 目 標

筆者の考えをまとめた文章に、適切な資料を選んで説明することで、筆者の考えや説明の仕方の工夫に対する考えを広げたり深めたりすることができる。

(2) 展 開 教師の言葉掛け 子供の反応 重点評価項目 ☆ ICT 活用上の留意点

過程(分)	主な学習活動と予想される子供の反応	教 師 の 指 導
つかむ・見通す(5)	<p>1 これまでの取組を想起し、本時の学習内容について話し合う。</p> <p>今日はどんな学習をしますか。</p> <p>前時は筆者の伝えたいことをまとめたので、その文章に合う資料を選びます。</p> <p>2 本時の学習課題を立てる。</p> <p>筆者の考えを効果的に伝えることができる資料を選んで説明しよう。</p> <p>3 解決の見通しを全体やペアで確認する。</p> <p>4 筆者の考えを効果的に伝えることができる資料を選ぶ。</p>	<p>○ 本時の課題の解決に向け、どのように学習を進めるのか全体で確認後、ペアで確認し合うことで、子供一人一人が見通しをもって本時の学習に臨むことができるようにする。</p> <p>○ 前時にまとめた文章を振り返り、学習内容における成果と課題を自覚することで、本時の学習への意欲を高めることができるようにする。</p> <p>○ 各意味段落の筆者の考えと、それを示す資料との対応を確認することで、筆者の三つの考えと七つの資料とのつながりを押さえることができるようにする。</p>
調べる・深める(10)	<p>5 筆者の考えを効果的に伝えることができる資料はどれか、グループで話し合う。</p> <p>【グループにおける「学び合い」】</p> <p>本文にある七つの資料の中から資料を三つ選び、友達と自分の考えを比べましょう。</p> <p>(「学び合い」の目的と方法)</p>        <p>資料①、⑤、⑦がいい。「科学技術の進歩」の結果を資料①の「的中率の向上」が示しているから。</p> <p>資料②、⑥、⑦がいい。気象レーダーなど「科学技術の進歩」についてよく分かるから。</p>	<p>☆ 電子黒板で「学び合い」の手順や方法を示すことで、見通しをもって「学び合い」に取り組むことができるようにする。</p> <p>○ 資料を貼付した「発表ボード」を活用することで、友達の考えと比較しながら、互いの考えを広げることができるようにする。</p> <p>○ 理由（なぜそう考えたのか）、根拠（何段落のどのような言葉や文に着目したのか）に基づいて発言することで、考えを広げることができるようにする。</p>
まとめる・広げる(15)	<p>「学び合い」を通して出された各グループの考えを、「発表ボード」で比較する。</p> <p>6 グループでの「学び合い」の結果を、全体で話し合う。</p> <p>【全体での「学び合い」】</p> <p>資料②の写真だと、「的中率が向上」したことを説明することはできないんじゃないかな。</p> <p>資料⑤は、数値の変化が予想の難しさを示しているね。</p> <p>資料①や⑤のように、図表とグラフが使われた方が、筆者の考えを効果的に説明できるね。</p>	<p>○ 資料①、⑤、⑦を選んだグループと、資料②、⑥、⑦を選んだグループを意図的に取り上げることで相違点に気付かせ、どちらの資料が効果的か、全体で吟味することで考えを深めることができるようにする。</p> <p>◆ 資料の効果を捉えながら文章の内容を的確に押さえている。</p> <p>【読む能力：発表ボード、「学び合い」】</p>
高める・味わう(15)	<p>7 選んだ資料を見せながら、筆者の考えを説明する。</p> <p>8 解決の過程を振り返り、成果と課題を自覚する。</p> <p>【自己評価】</p> <p>㊦ 図表やグラフを使った筆者の意図や効果が分かった。</p> <p>㊧ 自分の文章に合う効果的な資料を選んで説明することができた。</p> <p>㊨ ○○くんの意見を聞いて、資料②から資料①にかえた。</p> <p>㊩ 図表やグラフを使って説明する文章を書いてみたい。</p> <p>㊪ もっと筆者の伝えたいことを分かりやすくまとめたい。</p>	<p>○ 資料を見せながら筆者の考えを説明することで、「学び合い」の成果を自覚することができるようにする。</p> <p>○ 「学び合い」を通して、分かったことやできたこと、生かしたいことについて発表し合うことで、本時の学びの過程を振り返るとともに、次時の「学び合い」につなげることができるようにする。</p> <p>◆ 筆者の考えや説明のしかたの工夫に対する考えを広げたり深めたりすることができている。</p> <p>【読む能力：ノート】</p>

「学び合い」想定シート

学習課題

筆者の考えを効果的に伝えることができる資料を選んで説明しよう。

本文にある七つの資料の中から資料を三つ選び、友達と自分の考えを比べながら筆者の考えを説明しよう。

本文に七つある資料を三つ選ぶとしたら、どれを選びますか。友達と自分の考えを比べましょう。

ぼくは資料①、⑤、⑦を選びたいと思うんだけど。

わたしは、資料②、⑥、⑦を選びたいな。

どうしてかな。

資料②は、アメダスや気象レーダーなど、「科学技術の進歩」についてよく分かるからだよ。

資料①の方が、「的中率の向上」についてよく分かると思うからね。

どの資料を選べばいいのかな。

他のグループはどの資料を選んでいるのかな。

「学び合い」を通して出された各グループの考えを、「発表ボード」で比較する。

資料①と資料②とでは、どちらが効果的なのでしょうか。
【資料を対比した上で問い返す言葉掛け】

資料①もいいと思うのですが、わたしは資料②を選びました。筆者は、的中率が向上してきた原因を、「科学技術の進歩」と書いているので、資料②を選んだ方がいいと思います。

資料①を選んだグループは、何か理由がありますか。
【理由と根拠を話させる言葉掛け】

資料①を選んだ理由は、資料①の表だと80パーセントに満たなかった的中率が、1971年から2010年までの間の中率が85パーセント以上になったことが正確に分かるからです。

数を示すと、「的中率が向上」したことが正確に伝わるといいことだね。

なるほど資料②は、科学技術の進歩が、的中率の向上につながっていることが分かりますが、「的中率が向上」したことを説明する点についてはどうですか。
【関連付ける言葉掛け】

では、資料⑤と資料⑥とでは、どちらが効果的なのでしょうか。
【資料を対比した上で問い返す言葉掛け】

資料⑥の写真の方が「局地的な天気の変化が天気の予想を難しくしている」という筆者の考えが伝わりやすいと思います。

ぼくたちは、資料⑤がいいと思います。突発的な天気の変化について約20年間調べた結果がグラフと数値で示されていて、天気の変化が多い年もあれば、少ない年もあることが効果的に伝わるからです。

グラフによって、天気の変化の移り変わりが一目で伝えられるということですね。
【価値付け】

意味段落1の資料①も、意味段落2の資料⑤も、それぞれ図表とグラフが使われていて、筆者の考えを説明するためにはとても効果的な資料だと思います。